

## コラム：自宅で英語力を測る

語学学習をする過程で、「力がついた！」と確信するのはなかなか難しい。おそらく「力が伸びたな」とか「勉強方法を変えよう」などと思うのは、試験結果を見た後が多いだろう。しかしながら、臨時休業に伴って、模擬試験や英語資格試験も延期・中止となり、公式の試験を受けることができない。そこで、自宅でできる無料の英語力チェックテストを 2 つ紹介しよう。勉強をするうえで、今の自分の立ち位置を知ることはとても大切である。英語力を測る一つの手立てとして、利用してみてもどうだろうか？

まずは、**Cambridge Assessment English** のレベルチェックテスト。語彙力と文法力に関する 25 問である。英語資格試験の一つ、「ケンブリッジ英語検定 (**Cambridge English Qualifications**)」を知っているだろうか？ 上記テストは、ケンブリッジ英検のどのレベルを受けるかを判断する一つの方法になるものだ。みんなが知っている「**実用英語技能検定**」と異なり、**TOEFL**、**IELTS** のように日本人以外の英語学習者も受験する資格試験である。ケンブリッジ英検を英語外部試験として利用する大学数は、英検に比べると少ないが、**CEFR\***に準拠した評価になっており、信頼のできる資格である。英語表記のサイトではビジネス英語のテストにも挑戦できる。

\*CEFR= (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment : 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)

もう一つは、[NHK 出版の英語力測定テスト 2020](#) である。文法問題、会話・表現問題、リスニング問題が各 5 問ずつで構成された計 15 問のテストである。テスト終了後に、レベルに応じたおすすめテキストが表示される。何ページか試し読みができるので、英語学習の参考にしてみると良いだろう。本の情報のまとめ方は自分のオリジナル勉強ノートの書き方の参考にもなるだろう。学習のアイディアは自分の身の回りに沢山ある。吸収できるものはどんどん吸収しよう。

さあ、長い休業といえども、ありあまる時間はあっという間もなく過ぎ去っていく。今一度、フレッシュな気持ちで英語を勉強し始めるきっかけとして、自分の英語力チェックをしてくれたら嬉しい。しかし、一人だとなついなほうへ逃げたくなってしまうこともあるだろう。私は「頑張ろう」という気持ちを保つために、職場のデスクにヘミングウェイ (**Ernest Hemingway** : ノーベル文学賞を受賞したアメリカの小説家) の名言を貼っている。

*“You can’t get away from yourself by moving from one place to another.”*

(今いる場所から逃げても、自分から逃げることはできない。)

みんなの成長を願っている。頑張ろう。

Y.M.